

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	北いわて情報発信事業	経営企画部	1,421,607	1,421,607	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	道の駅「いわて北三陸」の令和5年4月19日オープンに合わせて、スタンプラリーを開始できる体制を整備することができた。また、再生可能エネルギーについて県北地域の市町村が先進区域に指定される等機運が高まる中で、地域住民への周知、理解促進に繋げることができた。
2	カシオペア地域づくり活性化推進事業	経営企画部	2,480,000	2,480,000	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	ラジオ出演した地域おこし協力隊から、「他の市町村の隊員や地域住民とのつながりができ、連携した活動ができた」、「活動の幅が広がった」等の声が聞かれ、地域おこし協力隊の定着に一定の効果を果たしたと思われる。 カーリング団体による各種イベントの開催により、特にカーリング未経験者や初心者への魅力発信を行い、競技人口の拡大を図った。
3	北いわて・子ども文化スポーツ体験ひろば	経営企画部	859,445	859,445	1 県・委託	14 文化・スポーツ	1 ソフト	児童等が文化芸術やスポーツを体験する機会を設定し、具体的推進方策(地域振興プラン)上の目標を達成した。
4	八戸圏域との文化スポーツ交流・連携推進事業	経営企画部	189,980	189,980	4 県・上記以外	14 文化・スポーツ	1 ソフト	ヴァンラーレ八戸といわてグルージャ盛岡の選手等を招請し、スポーツを体験するとともに、選手及び他圏域の児童と交流する機会を設定した。参加者は設定した定員の72.5%であり、新型コロナウイルス感染症の影響等により、全体としても、具体的推進方策(地域振興プラン)上の目標を達成できなかった。
5	「おでかい-サボ」で素敵な“♡で愛♡”応援!!事業	保健福祉環境部	943,000	943,000	1 県・委託	8 子育て・福祉	1 ソフト	県北広域局で初めて婚活イベントを開催し、少子化対策の一環とした事業を実施した。県北地区の結婚を望んでいる方々への事業提供を今後とも実施していきたい。 婚活セミナーについては、新型コロナウイルスの影響で実施することができなかった。
6	北いわて妊産婦安心安全出産支援事業	市町村	2,423,201	1,211,597	2 県・補助	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	令和3年度に比べ、補助対象者が減少し、見込みより大幅に減額となった。
7	障がい者アート推進事業	保健福祉環境部	78,486	78,486	4 県・上記以外	8 子育て・福祉	1 ソフト	作品展来場者に対し実施したアンケートでは、展示作品に対する賞賛の声が多く聞かれ、地域住民の障がい者理解の一助になったと思われる。また、来場者から寄せられたメッセージを事業所及び各制作者にフィードバックしたことから、事業所利用者の作品制作意欲を醸成したと思われる。
8	建設業ふれあい事業	(一社)岩手県建設業協会久慈支部青年部会	481,258	292,000	2 県・補助	5 雇用環境の整備	1 ソフト	楽しみながらのドローン操作体験を通じ、ICT施工等の技術が大きく変革する建設業に興味を持ってもらい、将来の建設業技術者の担い手育成が期待されることから、県北局として引き続き支援していきたい。
9	三陸鉄道企画商品券造成支援事業	三陸鉄道(株)	255,280	185,280	2 県・補助	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	野田村「ブチよ市」及び普代村「ジョイフルデー」は、飲酒可能なイベントであり、公共交通との相性がよいことから、当初、アルコールを嗜好する層をメインターゲットとして想定していたが、これらの層に加えて、親子連れや学生グループなどの利用も見られ、若年層の乗車機会の提供にもつなげることができた。 商店主からも「マンネリ感のあったところに熱を呼び込むよい機会になった」「新規顧客の開拓に効果があった」と前向きに評価する声が寄せられた。
10	久慈・二戸地域「道の日ウォーキング」事業	土木部	107,052	107,052	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	令和4年8月の豪雨により災害等を受け事業中止となったが、参加申込者から令和5年度は必ず開催してほしいと要望を受けている。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
11	県北にのへ環境を守り育てる人材育成事業	保健福祉環境部	144,574	144,574	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	県境不法投棄に係る出前授業については、事案を伝えるだけでなく、授業を受けた生徒が主体的に参加できるような取組に発展できるように内容の充実を図っていきたい。 二戸地域環境塾については、環境に興味を持つ生徒を対象としたが、参加人数を増やすためには、話を聞かせるだけでなく、体験させる等興味を引き出すための工夫が必要と思われた。
12	県北地域における動物愛護思想普及啓発事業	保健福祉環境部	81,813	81,813	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	適正飼養講習会は新型コロナ感染症の影響で開催できなかったものもあった。幼齢動物飼育ボランティアは、ボランティアの意見を踏まえ負担を軽減しながら、連携していのちの生存機会を増やせるよう努めていきたい。
13	北いわて再エネ広域連携推進事業	経営企画部	2,084,798	2,084,798	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	勉強会として、北いわて9市町村の担当が一同に会したことで、市町村間の意思疎通や今後の取組を検討する新たな場を提供することができた。 将来的な首都圏への再エネ供給を見込み、北いわての再エネの取組や特産品について、認知度の向上を図ることができた。 地域で活用の機運がある洋上風力発電について、県側の理解の促進を図ることができた。
14	農業担い手チャレンジ支援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会 二戸地方農林水産振興協議会	723,900	482,231	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	事業実施によって、モデル経営体の生産性向上につながっており、関係機関・団体による管内農業者への取組内容の波及が期待できる。 今後、関係機関・団体が連携し、地域における担い手の経営発展に向けて取り組んでいく。
15	魅力ある農業農村づくり活動支援事業	やまね未来づくり会	177,075	138,683	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	地域活性化に取り組むグループへの補助については、久慈市のやまね未来づくり会を支援し、地域の特産品である山白玉大豆とくみを活用した商品開発を進め、2商品の販売を開始することができた。また、パッケージやデザイン、ポップなど販売力向上につながる勉強会を開催し、会員のスキルアップを図ることができている。 管内の市町村、集落、団体を対象に地域づくり研修会を実施しており、農村RMOについて考える良い機会となった。
16	アスパラガス半促成栽培実証事業	農政部	202,870	202,870	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	当地域の半促成アスパラガス栽培では、雨よけほうれんそう(3～4回転)と同程度の所得が得られることが分かった。 今後面積が拡大した際の出荷体制の検討が必要であるため、今後もJAや産直等との情報共有を行っていくこととする。 令和5年度は、栽培2年目となる山形の圃場での収穫量・販売額を調査するとともに、現地圃場見学会を引き続き実施し、地域への波及を図る。
17	ほうれんそう夏期収量アップチャレンジ事業	農政部	361,357	361,357	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	湿度以外の生育抑制要因がない条件であれば、ミスト加湿により1～2日程度の生育促進効果及び4～17%の増収効果が認められた。 現地での技術の普及においては、想定される導入規模(10a)でのミスト多棟制御法の確立が必要であるため、令和5年度は実証規模を10aに拡大して実証を継続するとともに、導入の加速化に向け現地検討会の継続開催や導入マニュアルの作成を実施する。
18	多様な担い手づくり推進事業	農政部	53,538	53,583	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	目標を上回る新規就農者数を確保した。
19	フードダイバーシティ支援事業	二戸地域でフードダイバーシティの取組を推進する地域	332,280	232,280	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	今回の意見交換会により、ヴィーガン対応の料理やお酒を味わうことにより、ヴィーガンや食の禁忌者の食事に対する偏見や思い込みを払拭するきっかけになったと考えられ、二戸地域におけるフードダイバーシティのまちづくりを促進することにつながった。 二戸地域では、牛肉(短角牛)や鶏肉の産地でもあることから、ハラル等の食の禁忌者への対応も検討が必要であると考えられる。 「二戸フードダイバーシティ推進協議会」が推進母体となり、二戸地域におけるフードダイバーシティの取組が浸透してきていることから、今後も、引き続き、本取組の県内外に向けたPRなどの支援を行っていく。
20	農林水産業経営力向上支援「カイゼン塾」事業	農政部	1,428,001	1,428,001	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	カイゼン現地見学会を開催してカイゼンについて広く管内に紹介し、カイゼン塾を開催して受講農家へのカイゼン導入を図ったが、最終的には2経営体の導入にとどまった。カイゼン導入の新規モデルは管内では飽和したと考えており、次年度は既導入農家への定着支援とカイゼン効果を広く紹介するための事例収集と発表を行い、カイゼンモデル確立に向けて取組を行う。

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費(円)	推進費(円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
21	御所野遺跡等をテーマにした産直の商品開発等支援事業	農政部	169,586	169,586	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	「先進地事例調査」では、先進地における商品のラインナップや、産直の運営・組織体制について調査し、参加産直の意識醸成を図った。また、加工品づくりにおける法改正への対応の足掛かりとなるよう、「加工品づくり研修会」を開催し、各産直の取り組むべき事項が明確となった。 「個別課題解決相談会」については、産直からの申込みはなかったものの、令和3年度まで実施していた3産直の取組の定着が見られた。
22	スマート果樹栽培推進事業	農政部	227,682	227,682	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	アシストスーツは、着脱作業に難点があったことから、より作業性に期待もてるスーツの検証が必要である。ラジコン草刈機は、傾斜地での走行性に難があったことから、この点に改良がみられる他機種を確認する。自動ロボット草刈機は、平坦なブルーベリーほ場での有効性を確認できたことから、次年度は、傾斜地のりんごほ場における稼働状況調査が必要である。 令和5年度は、作業省力化実証として、追従型運搬車の実演及び生産者評価を併せて行う予定である。
23	林業・木材産業新規就業者確保支援事業	久慈地方「木の仕事」協議会	509,370	339,580	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	林業・木材産業への新規採用者確保が進んでいることから、今後とも継続して就業支援を行う必要がある。
24	久慈地方原木しいたけ付加価値向上推進事業	久慈地方しいたけ産産振興協議会	59,927	39,951	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができない状態が続いていたが、令和4年度は感染状況に左右されながらも徐々に活動を再開することができ、来年度以降の本格的な取組に向けた道筋をつけることができた。コロナ禍を経験し、生産者同士や消費者との交流の重要性を再認識することができたので、今後は取組をより深めていきたい。
25	日本一の北いわて木炭産業振興推進事業	北いわて木炭産業振興協議会	498,258	299,066	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	木炭だけでは消費者に対して魅力を十分に伝えることができなかったが、地元食材とともにPRを行うことで手応えを感じることができ、木炭のみならず地域全体のブランド力の向上を図るため、今後も連携を深めていきたい。 バイオ炭という新分野にも関わらず、セミナーには1次産業から行政・金融関係など多方面から参加者があり、CO2の削減・脱炭素化に対する関心の高さがうかがえた。今後もバイオ炭の活用に向けて調査を進め、木炭産業から新たな可能性を切り開いていきたい。
26	自伐型林業スタートアップ支援事業	馬淵川上流域森林・林業活性化センター	486,386	324,257	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	作業安全研修では、林業の経験が少ない地域おこし協力隊が、伐木作業時に重要な安全確保について、仮想空間において短時間での危険作業に対する知識を習得できた。 また、県の「伐木技術指導員」から、安全に伐木作業を行う基礎技術を、繰り返し(2回の研修)により習得できた。 自伐型林業の起業支援では、協力隊卒業後の起業支援に向けて、活動期間終了後の姿の明確化に有益な情報を取得することができた。 令和5年度は、新たな協力隊も加え、伐木技術に必要な繰返し安全研修を行うとともに、地域への定着に向けて自伐型林業以外の収入源の検討のため、活動の幅を広げる機会の提供や、森林整備による収入確保に向けた視察・勉強会等を新たに実施し、引き続き協力隊終了後のあり方・方向性を見据えた支援を行う。
27	浄法寺漆産産振興活動支援事業	林務部	449,900	449,900	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	漆苗木生産について、更なる発芽率の向上や除草作業等の軽減、苗質の向上及び苗木生産の歩留率の向上等の課題が見つかった。苗木生産作業の更なる省力化と良質な苗木の安定生産を図るため、今後、コンテナ苗の栽培方法の検証が必要である。 ウルシ植栽を進めているが、生育不良や手入れ不足のウルシ林が増えていることから、ウルシ林の健全育成の支援が必要である。 良質な苗木を生産し、植栽したウルシ林の育成支援を行い、持続的な漆資源の確保につなげていきたい。
28	鳥越竹細工用スズク資源確保支援事業	林務部	354,200	354,200	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	移植による増殖の目的はついたものの、竹細工生産者が減少していることから、移植による増殖方法の普及を進め、原材料の入手軽減により竹細工生産者の維持増加を目指したい。
29	久慈地域水産物流通リカバリー事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	314,500	211,166	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	今年度は、水産物のみではなく、水産加工品についても情報提供したが、情報に新鮮味がなかったためか、閲覧者数数を増やすことができなかった。このため、今後は、久慈地域の水産物の生産状況や環境なども含めた久慈地域の幅広い情報を発信し、閲覧者数の増加を図っていく。

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
30	明日の浜の担い手育成事業	水産部	212,909	212,909	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	高校生が地域漁業の理解を深めることにより、漁業就業への機運醸成が期待される。 一方で、新規漁業就業者を確保・育成していくためには、受入側の意識改革が必要であることから、各市町村及び漁協と連携した受入体制の強化が必要であるほか、より幼年期から漁業に触れる機会を提供することにより、漁業就業への機運醸成効果を高めていく必要がある。
31	磯根資源の餌料環境対策事業	水産部	233,781	233,781	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	① ドローンを使ったモニタリング調査 県北地域の沿岸部は、外海に面しているため白波が立ちやすいことから、ドローンで撮影する際は、晴天であること及び波が穏やかである日を重要視して選定する必要があることがわかった。 ② 人工餌料の生産コスト削減 養殖方法により、生産収量や投下労働力に差が出ることから、本取組を普及する際には、各漁協の意向をすり合わせる必要がある。
32	持続可能な水産増養殖推進事業	久慈市漁業協同組合	518,682	353,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	現場で養殖作業に携わる漁業者が先進事例を実地で学ぶ機会はほとんどないことから、先進地での作業や省力化機器に関する情報を得たことにより、今後技術改善や機器導入に向けた検討が活発化することが期待される。 ナマコについては増殖の可能性が示唆され、今後も継続して調査を行い、増殖や底質改善の可能性を検証する。
33	農水連携ウニ蓄養事業	水産部	1,411,419	1,411,419	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	今年度の試験結果をもとに、身入りを向上させる農産物と風味を向上させる農産物を組み合わせることにより、より品質の良いウニを生産することが可能か検証する。
34	北いわての食産業魅力づくり推進事業	経営企画部	1,424,714	1,424,714	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	(1) 販路開拓の支援について 岩手ホテルアンドリゾートとの連携による物産フェアやIGRとの連携によるツアーの実施を通じ、売れる商品や客層などが把握されており、今後はそれぞれの商品に応じた売り場(販路)の開拓を支援していくことが必要となっている。 (2) 新商品の開発について 県北地域の食産業事業者は小規模、零細事業者が多く、御所野遺跡の世界遺産登録やハロウインターナショナルスクールの開校に伴う安比地区への来訪者の増加が見込まれる中、商品開発の動きが鈍く、売上拡大を図る絶好の機会を生かせないことが懸念される。 また、岩手ホテルアンドリゾートとの連携した取組を通じ、商品の充実やお土産品開発(いわゆる箱菓子)の必要性についての意見もいただけており、事業者の販売戦略も確認しながら、販路を想定しながら商品開発を進めていくことも重要となっている。
35	北いわての「食・技」販路拡大推進事業	経営企画部	213,766	192,420	3 県・負担金	2 食産業	1 ソフト	出店者からは、地域外でのアピールの機会となり良いという意見があった一方で、毎回2〜3者という小規模なイベントであったことから集客力は不十分であった。 補助事業により、地域外への販路拡大に積極的な事業者の取組を支援することができた。
36	北いわてものづくり産業人材育成・交流推進事業	経営企画部	790,130	790,130	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	県北ものづくり改善塾については、コロナ禍でも実施できる形式に変更して実施した。その結果、従前の形式よりも企業及び修了生からの評価が高く、今後については令和4年度の形式により開催することとなった。修了生からは今後自社で改善の取組を続けていきたい等前向きな意見をいただくことができ、県北地域の業務効率の改善に繋がる取組となった。 教員向け事業所見学会についても、教員が管内企業を知るきっかけとなる取組になった。
37	北いわてアパレル産業人材育成支援事業	経営企画部	623,467	623,467	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	学生デザインファッションショーは昨年度と同様にテレビ放送により開催し、北いわてアパレルの認知度向上に取り組んだ。 令和5年度においては、より直接的に雇用の確保につなげるため、新たに作品展(地経費)や、インターンシップ事業(広域事業)を実施する。 また、動画等を活用して認知度向上に努める。
38	北いわて通年型周遊滞在促進事業	経営企画部	2,120,859	2,120,859	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	令和3年度よりコロナ禍による移動規制が緩和されたこともあり、目標値(令和3年度ベースで積算)を大幅に上回る結果となった。また、各フリー事務局において、各媒体での情報発信を積極的に行ったことや、対象施設が重複しているフリーがあったことも、応募者増の一因と考えられる。本事業により、管内の広域周遊や地域での観光消費の増に寄与することができた。

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
39	カシオペア地域魅力発信事業	二戸地区広域商工観光推進協議会 折爪岳振興協議会	3,040,707	1,431,000	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	二戸地区広域商工観光推進協議会に対する補助事業では、地場産業の意欲ある取組の支援、テレビを活用した情報発信による地域宿泊施設の宿泊数増加、ノバルティ配布による首都圏在住者等への観光PR及びビスクートボードや冬のキャンプ体験等の体験メニューの新規開発による交流人口拡大等につながった。 折爪岳振興協議会では、昨年度から取り組み始めた学習体験型イベントでは、実施内容の見直しを行ったことで、より参加者に興味をもって取り組んでもらえるような活動にすることができ、参加者からは好評をいただいた。折爪岳来場者数は目標値を下回ったが、継続して自然保護の大切さや観賞マナーの周知を進め、保全活動に携わる人たちが増えるよう活動を行っていく。
40	久慈地域魅力発信支援事業	(一社)久慈青年会議所	492,921	300,000	2 県・補助	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	参加者数が目標数を若干下回ったが、青年会議所の周年記念イベントとして大いに盛り上がり、来場者に地域の様々な魅力を伝えることができた。
41	さけ稚魚強靱化技術開発事業	水産部	1,210,000	1,210,000	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	高タンパク餌料を投与することにより、成長促進及び遊泳力強化が図られることがわかったものの、高タンパク餌料は通常のサケ用餌料と比べて高価であるため、この技術を普及させるためには、回帰率の向上効果を調査し、採算性の確認が必要である。
合 計			30,192,679	25,697,724				